

2020 年 6 月 25 日

学位論文審査委員会主査 各位
学位申請者 各位

統合教育機構長
若林 則幸

学位論文の審査及び最終試験の実施方法について

学位論文の審査及び最終試験（以下、「学位審査」）については、主査が「対面による学位審査」もしくは「Web 会議システム等を用いた学位審査」のどちらかを選択し、条件を満たしたうえで実施してください。

対面による学位審査の実施条件

（必須項目）

- 主査 1 名、副査 2 名、学位申請者 1 名の必要最小限の人数で実施すること。ただし、主査があらかじめ認めた場合、ソーシャルディスタンスを確保したうえで、主査、副査、学位申請者以外の者の出席を許可することができるものとする。
- 主査は出席予定者に、発熱、喉の痛み、咳・痰等の呼吸器症状及び倦怠感の有無について注意喚起をし、なんらかの症状を認める場合は審査会への出席は認めないようにすること。
- 主査は、出席者の間隔を 2 メートル以上確保し、着座位置及び着座時間を記録すること。

- 学位申請者は出席者の間隔が2メートル以上確保できる会場を準備すること。
- 手指消毒を徹底し会場内の換気に努め、出席者は必ずマスクを着用すること。

Web 会議システム等を用いた学位審査の実施条件

(必須項目)

- 主査1名、副査2名、学位申請者1名で実施すること。ただし、主査があらかじめ認めた場合、主査、副査、学位申請者以外の者の出席を許可することができるものとする。
- 主査（もしくは主査の指名した副査）が Web 会議システム等の準備を行い、あらかじめ許可した者以外が入室することのないよう入室者の管理を行うこと。
- 学位申請者は常時カメラをオンにし、バーチャル背景等の使用及びイヤホン等の使用を禁止する。

(任意項目)

- 主査が必要と判断した場合、学位申請者は学位審査に使用する PC とは別に Web 会議システム等にログインできる機器（タブレットまたはスマートフォンなど）でもログインし、学位申請者のうしろ姿と学位審査に使用する PC の画面が映るようにして発表すること。